学校番号	3031

令和８年度　理数科

教科	理数科	科目	（学）生物演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　生物基礎（啓林館）						
副教材等	ニューステージ新生物図表（浜島書店），新課程版セミナー生物基礎（第一学習社），新課程チェック＆演習生物（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでに２年間をかけて生物基礎を通して生物を学んできた。３年次では、これまでに得た基本的な知識・技能や生物基礎の見方・考え方をはたらかせることで、自分の力で適切な問いを立て、その課題に対する解決の道筋を立てられることを目標にしてほしい。さらに、その内容を周囲の人に発信し、科学的なコミュニケーションをおこなうということを心掛けたい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】日常生活や社会に関わるテーマを通じて、生物や生命現象についての基本的な概念、原理、法則を理解する。また、科学的に探究するために学問領域を横断して情報取集するための基本的な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】生物や生命現象の仕組みやはたらきについて知識を活用して論理的に考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】生物や生命現象に関わる学習活動に主体的に関わり、疑問点を見出そうと意欲的に取り組もうとする。その過程で、学習としての評価を行い自身の学習の過程を認知できる。またそれをもとに学習の調整ができ，視座を高めようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物の共通性や多様性について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。 生物や生物現象に関わる観察、実習についても理解を深め、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	生物の共通性や多様性に関して、疑問を見出し、探求する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物の共通性や多様性に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 科学的な見方、考え方を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴・遺伝子とその働き	生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー 生物と遺伝子 遺伝情報の分配 遺伝情報とタンパク質の合成	a:生物の特徴や遺伝子について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。実験の過程や結果を的確に読み取り、整理することができる。 b:単元の内容に関して、疑問を見出し、事象を科学的に考察することができる。 c:単元の内容に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	定期考査	定期考査	振り返り
	生物の体内環境の維持	体内環境 体内環境を維持する仕組み 免疫	a: 生物の体内環境について、基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。 b:生物の体内環境に関して、疑問を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察している。 c:生物の体内環境に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。科学的な見方、考え方を身につけている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題
	生物の多様性と生態系態系	植生の多様性と遷移 バイオームとその分布 生態系とその保全	a: 植生の遷移や生態系について、基本的な概念や原理・原則を理解している。 b:示されたデータを科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c:単元の内容に関心を持ち、科学的な見方、考え方を身につけている。	定期考査	定期考査	振り返り

後期	総合演習	実験系の理解 実験データの読み取り 合理的推論 問題読解	a: 問題演習を通じて、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。 b:問題演習を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c:問題演習を通じて、科学的な見方、考え方を身につけている。	定期考査	定期考査 パフォーマンス課題	振り返り パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度